

特別調査「平成24年の経営見通し」

問1. 貴社では、平成24年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答え下さい。

	1.非常に良い	2.良い	3.やや良い	4.普通	5.やや悪い	6.悪い	7.非常に悪い
合計(構成比)	0	0	1.7	8.4	38.8	35.4	15.7
合計件数	0	0	3	15	69	63	28
製造	0	0	2	4	16	16	1
建設	0	0	0	7	12	18	9
卸売	0	0	0	0	4	2	2
小売	0	0	1	3	23	16	11
サービス	0	0	0	1	14	11	5

*平成24年の日本の景気の見通しについては、「やや悪い」とするものが38.8%で最も多く、次に「悪い」が35.4%、「非常に悪い」とするものが15.7%あった。このように全体の89.9%が悪化を見通している。一方、景気の見通しについて「普通」とするものは8.4%、「やや良い」とするものは1.7%であった。「良い」-「悪い」=△88.2と、1年前の調査(△89.3)に比べ1.1ポイント上昇したが、依然として景気の見通しは悪いとする回答が大勢をしめた。

問2. 貴社では、平成24年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

	1.非常に良い	2.良い	3.やや良い	4.普通	5.やや悪い	6.悪い	7.非常に悪い
合計(構成比)	0	0	2.8	20.2	42.7	24.2	10.1
合計件数	0	0	5	36	76	43	18
製造	0	0	3	12	17	7	0
建設	0	0	2	9	18	13	4
卸売	0	0	0	0	4	3	1
小売	0	0	0	9	23	11	11
サービス	0	0	0	6	14	9	2

*平成24年度の自社の業況(景気)見通しについては、「やや悪い」とするものが42.7%、「悪い」が24.2%、「非常に悪い」とするものが10.1%あった。このように全体の77%が悪化を見通している。一方、景気の見通しについて「普通」とするものは20.2%、「やや良い」とするものは、2.8%であった。「良い」-「悪い」=△74.2と、1年前の調査(△72.5)に比べ1.7ポイントの下降となった。

問3. 平成24年度において貴社の売上額の伸び率は、平成23年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

	1.30%以上の増加	2.20~29%の増加	3.10~19%の増加	4.10%未満の増加	5.変わらない	6.10%未満の減少	7.10~19%未満の減少	8.20~29%の減少	9.30%以上の減少
合計(構成比)	0.6	0.6	3.4	8.4	25.8	35.9	13.5	5.1	6.7
合計件数	1	1	6	15	46	64	24	9	12
製造	0	0	1	9	9	12	4	2	2
建設	1	0	3	2	14	12	5	4	5
卸売	0	0	0	0	1	5	1	0	1
小売	0	0	2	3	14	20	8	3	4
サービス	0	1	0	1	8	15	6	0	0

*平成24年度の自社売上額の伸び率見通しは、「10%未満の減少」が35.9%、「10~19%未満の減少」13.5%、「20~29%の減少」5.1%、「30%以上の減少」とするものが6.7%あった。全体の61.2%が減少を見通している。一方、「変わらない」とするものは25.8%であった。「増加」-「減少」=△48.2と、1年前の調査(△52.8)に比べ4.6ポイント上昇し、改善傾向にある。

問4. 貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答え下さい。

	1.すでに上向いている	2.6カ月以内	3.1年後	4.2年後	5.3年後	6.3年超	7.業況改善の見通しは立たない
合計(構成比)	3.4	3.9	8.4	11.8	12.4	10.7	49.4
合計件数	6	7	15	21	22	19	88
製造	1	3	7	4	5	3	16
建設	3	2	4	6	9	6	16
卸売	0	0	0	2	1	1	4
小売	1	2	1	6	4	6	34
サービス	1	0	3	3	3	3	18

*業況が上向く転換点については、「すでに上向いている」とする回答割合が3.4%と、1年前の調査(1.7)に比べ1.7ポイント上昇した。一方、「業況改善の見通しは立たない」とする企業割合は49.4%と、1年前の調査(49.7)とほぼ横ばいの数値。全体の84.3%が「2年後~」あるいは「見通しは立たない」としている。

問5. 貴社の事業展開上(売上・収益の増加などに向けて)、今後の成長・拡大を期待したいのはどのような分野ですか。次の1~9の中から最大3つまでお答えください。なお、特にないという方は、0を選択してください。

(複数回答)

	1.環境・エネルギー	2.介護・医療	3.健康産業 (食品、機器 など)	4.海外市場 (海外展開 輸出など)	5.外国人向 けビジネス (国内需要 向け)	6.IT関連 (情報通信)	7.農林水産業	8.地域活性化・町おこし	9.その他	10.特にな い
合計(構成比)	15.8	9.6	10.7	2.8	1.1	5.1	35.4	59.0	3.9	24.7
合計件数	28	17	19	5	2	9	63	105	7	44
製 造	6	0	2	3	1	1	14	15	0	17
建 設	10	4	2	0	0	3	19	30	4	8
卸 売	0	1	0	0	0	0	5	4	0	2
小 売	8	6	13	1	0	4	16	32	3	12
サービス	4	6	2	1	1	1	9	24	0	5

*今後、成長・拡大を期待したい分野で一番多かったのは、「地域活性化・町おこし」の59.0%で、次に「農林水産業」35.4%であった。また「環境・エネルギー」15.8%や「介護・医療」も9.6%と注目された。また、「特にない」と回答するものは、24.7%あった。

～調査員のコメントから～

- 過去にない昆布の不漁により、原藻の仕入価格上昇。
販売先への値上げ交渉を行い収益の確保図っている。(製造業)
- 前半、秋サケ定置は低調に推移したが、後半に回復し平年並みとなる。
年末用贈答品の製造フル稼働するも、来年度以降の安定稼働を不安視している。(製造業)
- 業者間の競争激しく、仕事の確保が難しい。材料費の高騰により利幅も減少。
公共事業の縮小のあおりを受けている。(建設業)
- 工事受注順調で、現場で人手不足の状態となり、調整を行った。(建設業)
- 町内の不況感強く販売納入先の減少や、納入額の減少見られる。(卸売業)
- 客足が近隣大型店へ流出している。(小売業)
- 地デジ化特需が落ち着きをみせ、売上・収益ともに減少傾向。(小売業)
- 大手ホームセンターの開店で、影響を受けている。(小売業)
- 中古車の売上は前年より下回っているが、リースは好調。(サービス業)
- 町の合併から数年経過するが、町職員の減少により、売上減少している。(サービス業)
- 一般客の高齢化、人工の減少により自動車の販売は減少しつつある。
燃費の良い軽自動車、ハイブリッド車以外は苦戦している。(サービス業)